

大松川ダム役割って？ 緊急放流って？

平成11年に完成した大松川ダムは、令和6年4月で26年目をむかえました。これまでに洪水被害の軽減、水道水や農業用水への供給など、ダム下流域に住む方々の生活に大きく寄与してきました。26年目をむかえた大松川ダムの役割や最近ニュースなどでよく耳にする緊急放流について、改めて確認してみましょう！！



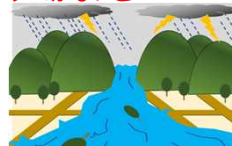
大松川ダムと紅葉(令和5年10月撮影)

●大松川ダムの役割とは？

＜大松川ダムには大きく5つの目的があります＞

- | | |
|-------------|---------------------------------|
| ●洪水を防ぎます | 降った雨をダムに貯めて洪水を調整します |
| ●河川環境を保護します | 横手川沿川の水量を確保し美しい河川を守ります |
| ●農業用水に利用します | ダムに貯めた水を農業用水として利用します |
| ●水道水を供給します | 1日1万4千m ³ の取水を可能とします |
| ●電気をつくります | ダムから流れる水の落差を利用して電気をつくります |

ダムがないと・・・



ダムがあると！



河川環境の保護



水道水を供給



農業用水に利用



落差を利用した発電



●緊急放流とは？

＜令和5年7月豪雨では4つのダムで緊急放流を実施しています＞

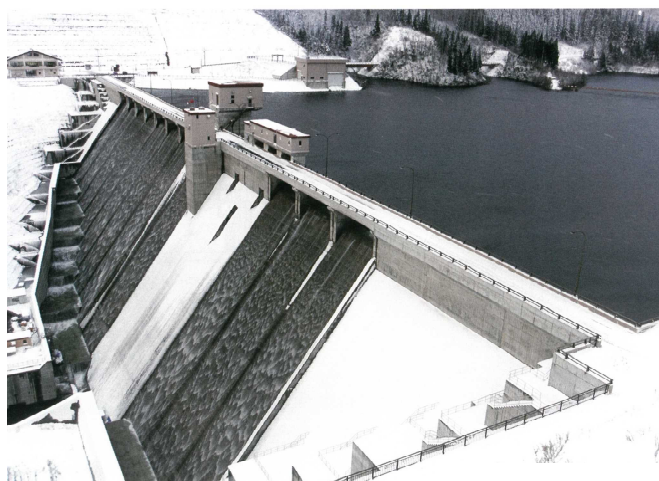
- | | |
|--------------|----------------------------|
| ①旭川ダム(秋田市) | ⇒ 過去の実績 総雨量・貯留量とも第1位 |
| ②岩見ダム(秋田市) | ⇒ 過去の実績 総雨量・貯留量とも第1位 |
| ③萩形ダム(上小阿仁村) | ⇒ 過去の実績 総雨量第4位ですが最大流入量が第1位 |
| ④水沢ダム(八峰町) | ⇒ 過去の実績 総雨量第2位ですが最大流入量が第1位 |

＜記録的な大雨でした＞

大雨でたくさんの雨がダムに流れ込んできた場合、ダムに貯まった水を最初は下流へ流す量を調節し、影響を最小限にしますが、雨がどんどん強く降り続き、ダムに貯められる量が限界(満杯)に近づいた場合、降った雨をダムに貯めることなく、そのまま下流に流す【緊急放流】が実施されます。

【緊急放流】はダムに貯めていた水を一気に流すことではありません。
(降った雨を貯めずにそのままに流すことです)

大松川ダムでは、ダム完成時に一時的に満杯にし、非常用洪水吐から水を流す試験(試験湛水)を実施しています。(写真↓平成10年12月)この試験以来、これまでに非常用洪水吐から【緊急放流】を実施したことはありません。なお、緊急放流を実施する場合は、放流前に地域の皆さんにサイレンで情報発信をします。



大松川ダム運用前の試験湛水による非常用洪水吐からの緊急放流
(平成10年12月撮影)



非常用洪水吐11門から水が流れる時は、ダムに貯められる量が限界(満杯)に近づいた場合にダム上流域に降った雨がそのまま流れます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

※大松川ダムではこの25年間一度も流れたことはありません。(試験湛水時以外)

この高さから流れます

大松川ダム非常用洪水吐(令和5年10月ダム上流から撮影)